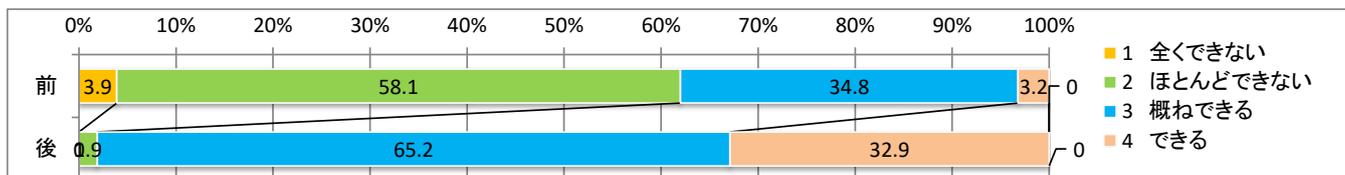


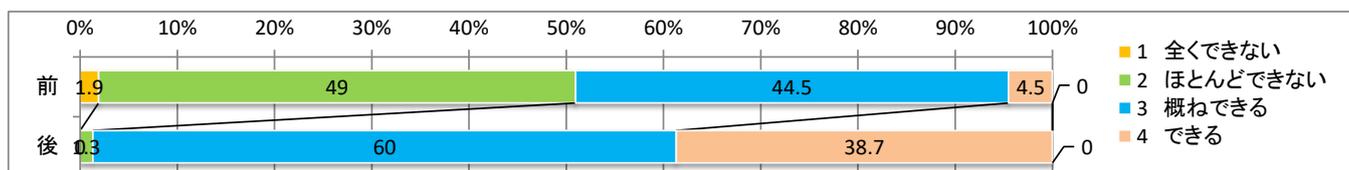
令和3年度介護支援専門員再研修・更新研修(実務未経験者)記録シート集計結果

科目名	①介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント		
実施日	令和3年12月23日	受講者数	155名

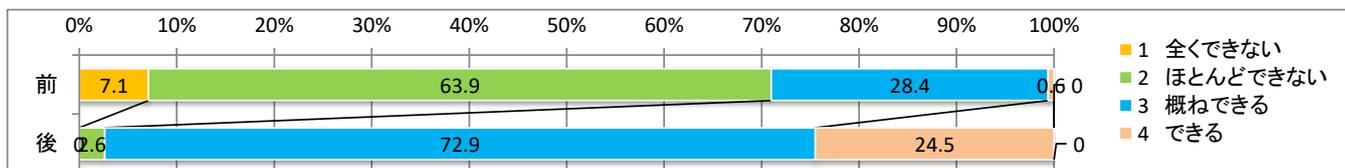
①介護保険制度創設の背景や基本理念について説明できる。



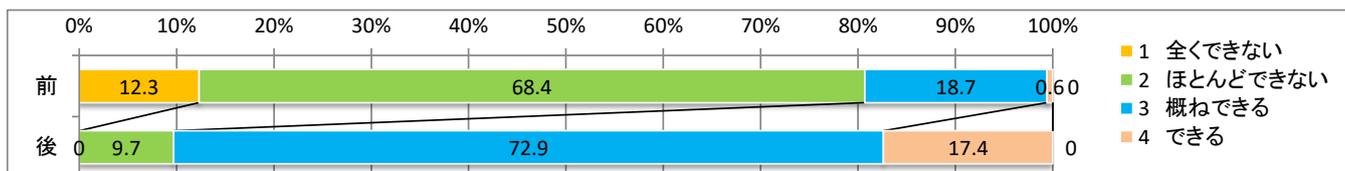
②ケアマネジメントの導入の意義と介護支援専門員の役割について説明できる。



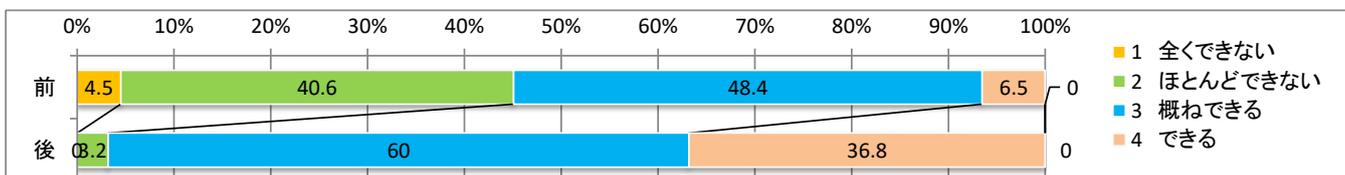
③地域包括ケアシステムが求められる背景や基本理念について説明できる。



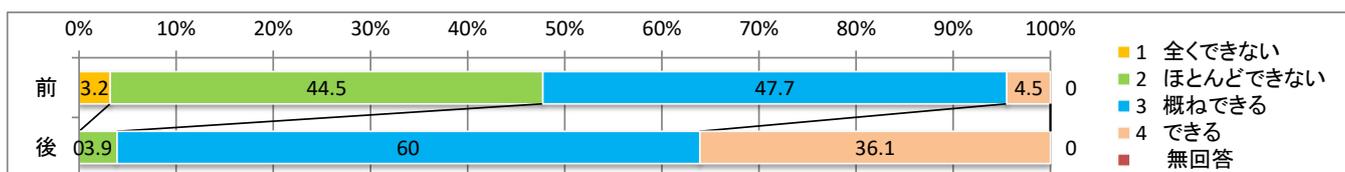
④自らの地域の地域包括ケアシステムの現状を把握する方法を述べる事ができる。



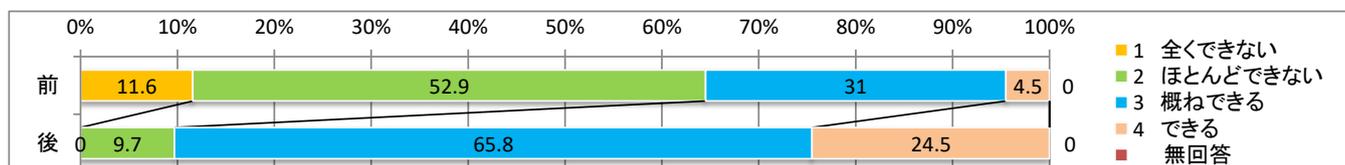
⑤介護サービスの利用手続き(要介護認定等に関する基本的な視点と概要)を述べる事ができる。



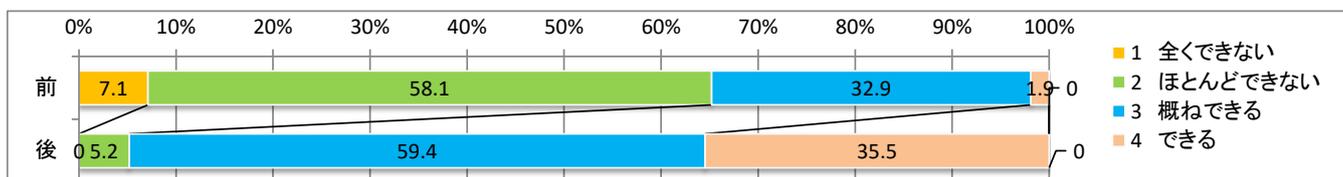
⑥居宅サービス計画等の重要性を述べる事ができる。



⑦保険給付及び給付管理等の仕組みを述べる事ができる。



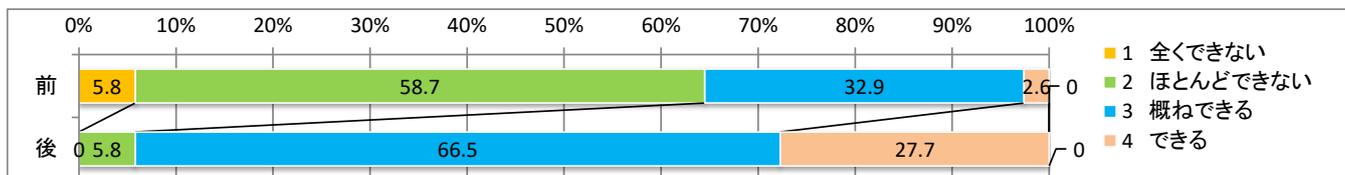
⑧ 継続学習の必要性と、具体的な学習方法を述べることができる。



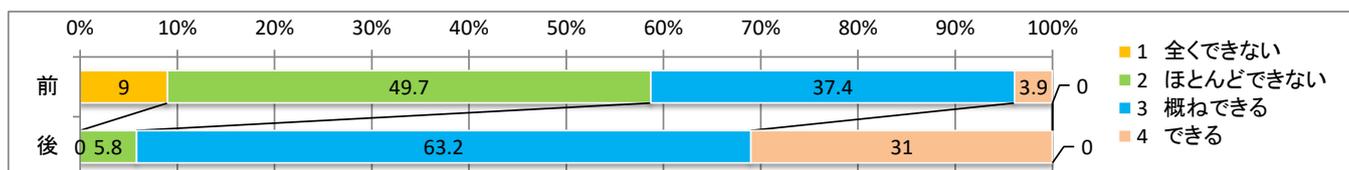
令和3年度介護支援専門員再研修・更新研修(実務未経験者)記録シート集計結果

科目名	②ケアマネジメントに係る法令等の理解		
実施日	令和3年12月23日	受講者数	155名

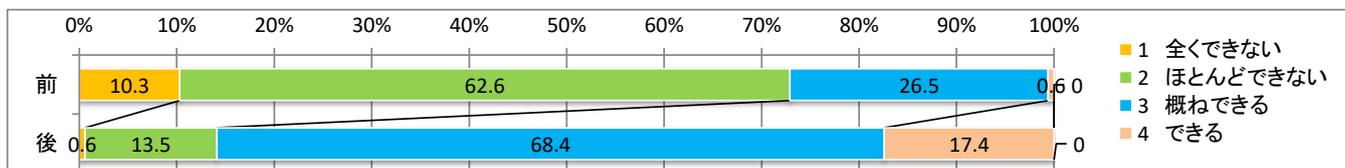
①介護保険法の意義と目的について説明できる。



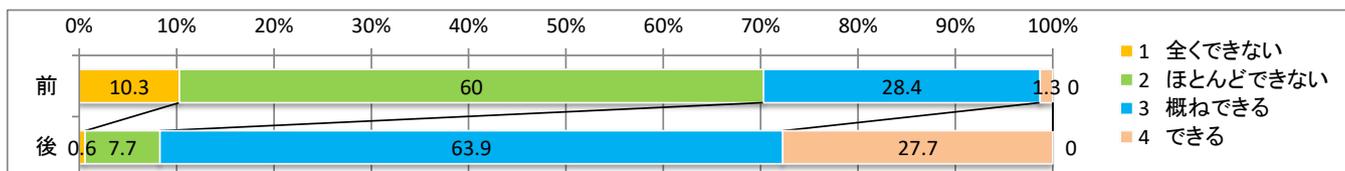
②介護保険法に遵守したケアマネジメントを実施できる。



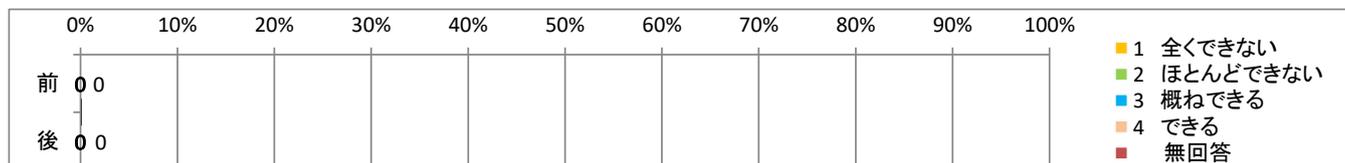
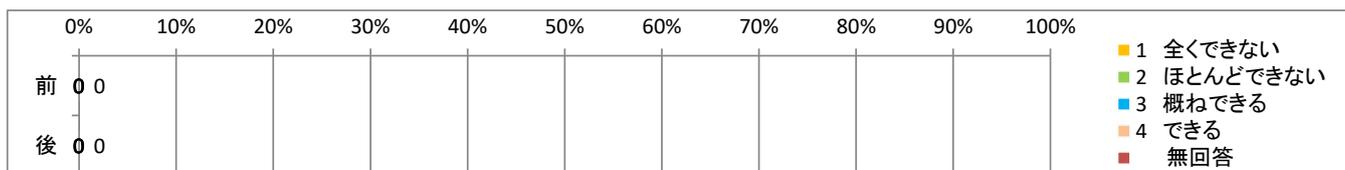
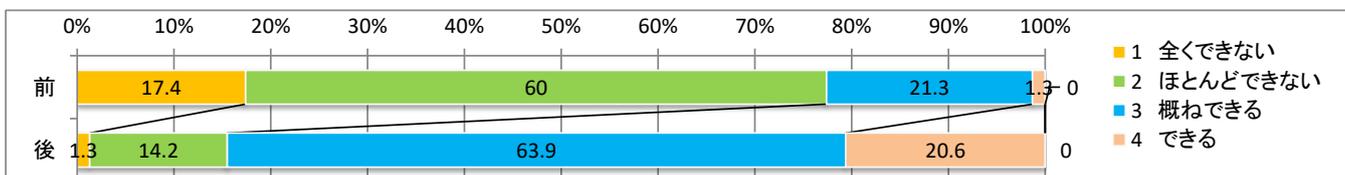
③利用者を取り巻く諸制度について説明できる。



④実践上の法令遵守について説明できる。



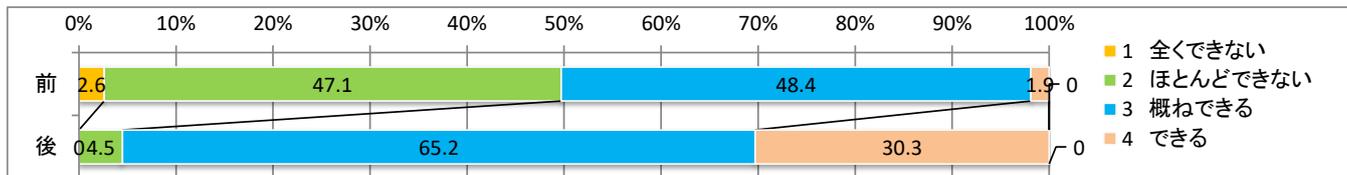
⑤介護報酬に係る関係告示や通知等の概要について説明できる。



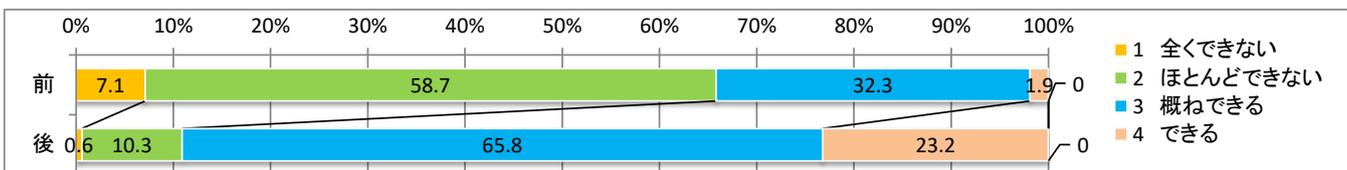
令和3年度介護支援専門員再研修・更新研修(実務未経験者)記録シート集計結果

科目名	③自立支援のためのケアマネジメントの基本		
実施日	令和3年12月24日	受講者数	155名

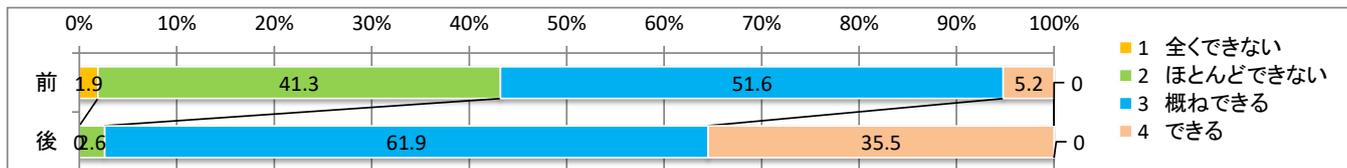
①中立・公平なケアマネジメントの重要性について説明できる。



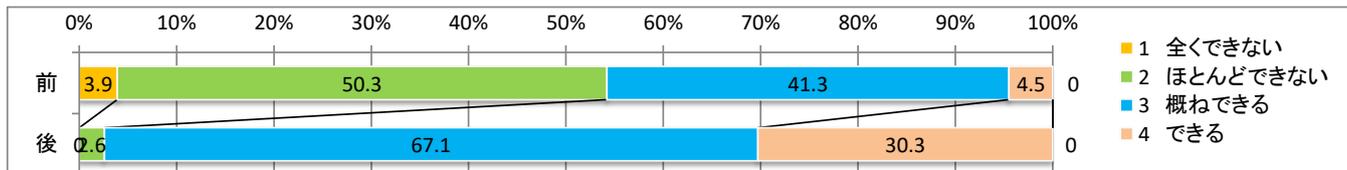
②運営基準に遵守したケアマネジメントの重要性を説明できる。



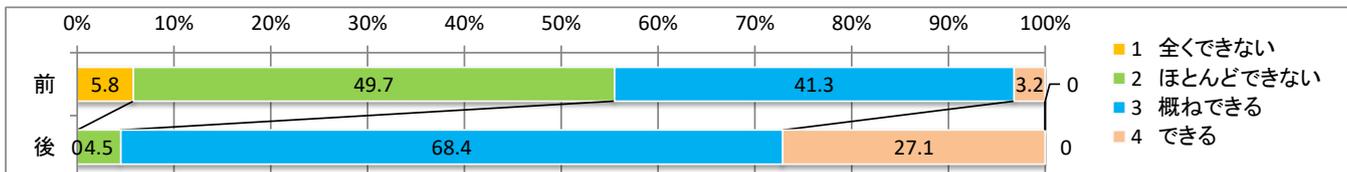
③利用者本位の選択を支えるケアマネジメントの意義を説明できる。



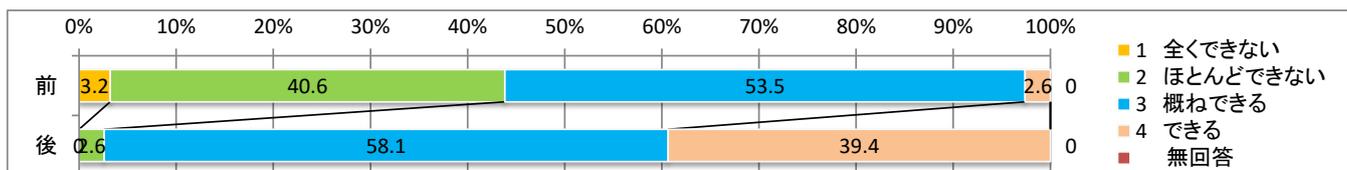
④利用者の権利を尊重したケアマネジメントの重要性について説明できる。



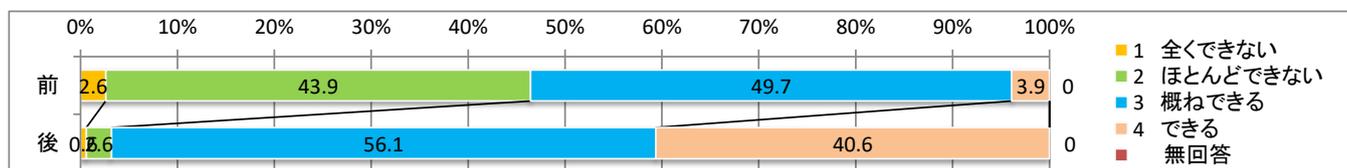
⑤社会資源を活用したケアマネジメントの必要性について説明できる。



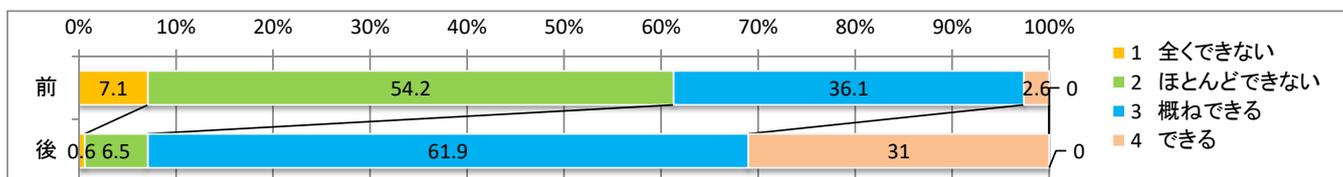
⑥利用者の能力に応じたケアマネジメントの重要性について説明できる。



⑦家族に対する支援の重要性について説明できる。



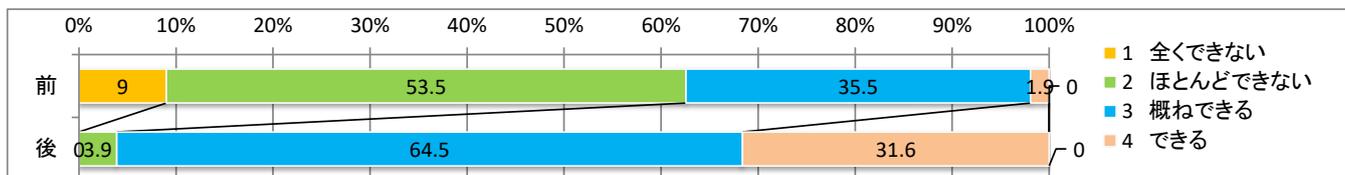
⑧介護予防ケアマネジメントの考え方について説明できる。



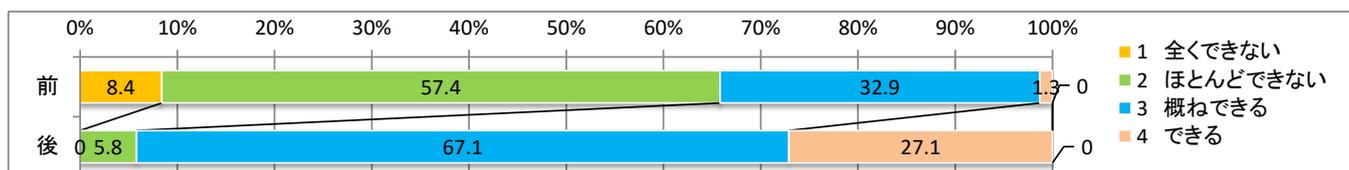
令和3年度介護支援専門員再研修・更新研修(実務未経験者)記録シート集計結果

科目名	⑥地域包括ケアシステム及び社会資源		
実施日	令和4年1月7日	受講者数	155名

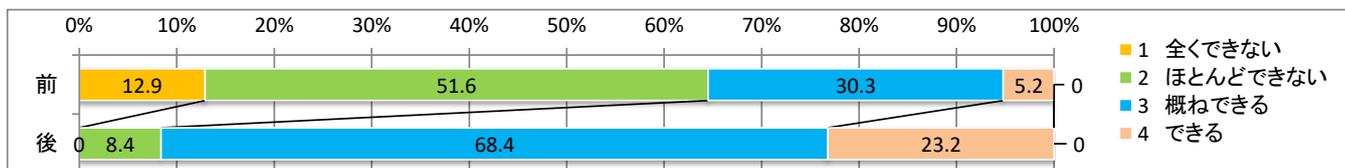
①地域包括ケアシステムの構築に向けた取組が求められる背景について説明できる。



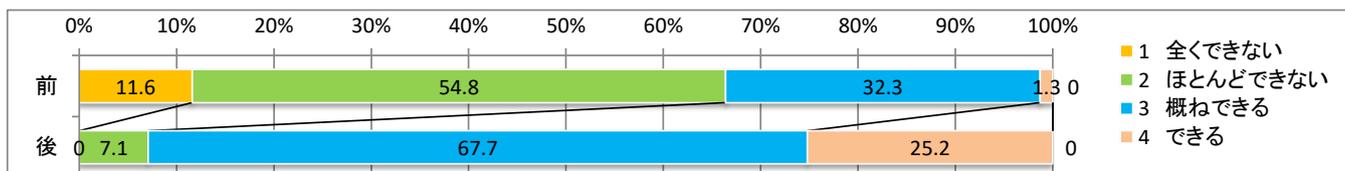
②地域包括ケアシステムを構築する意義と目的について説明できる。



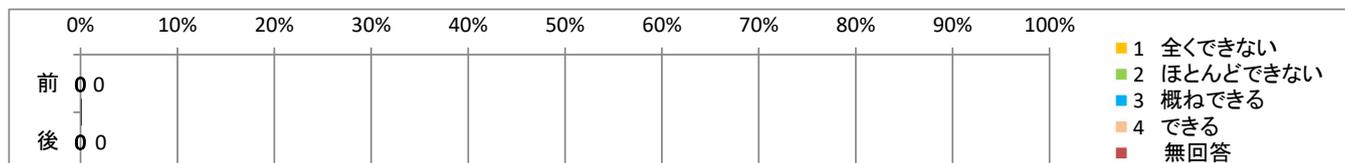
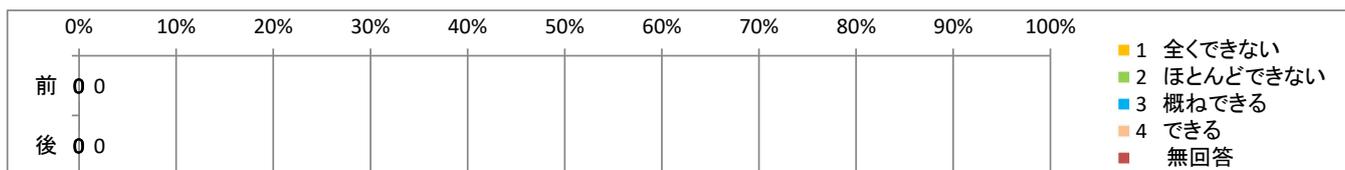
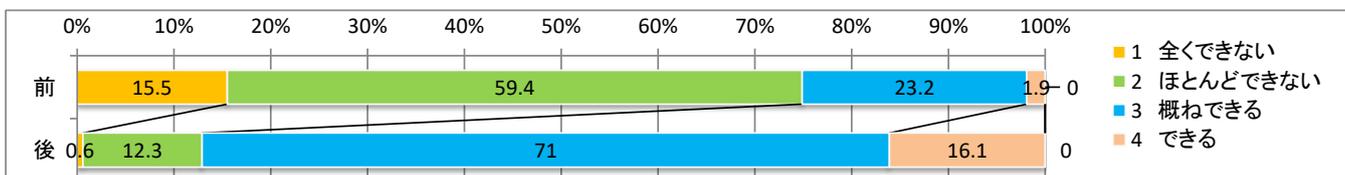
③利用者の地域の社会資源の調査を実施できる。



④地域包括ケアシステムの構築に向けて介護支援専門員が果たすべき役割について説明できる。



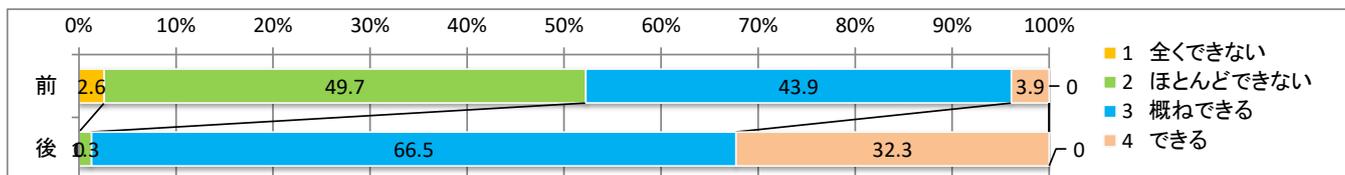
⑤地域の現状、課題、目指す方向性、社会資源の整備状況等を述べる事ができる。



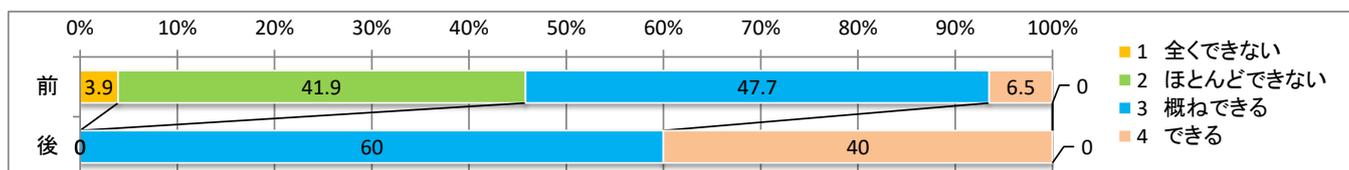
令和3年度介護支援専門員再研修・更新研修(実務未経験者)記録シート集計結果

科目名	⑦人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理		
実施日	令和4年1月7日	受講者数	155名

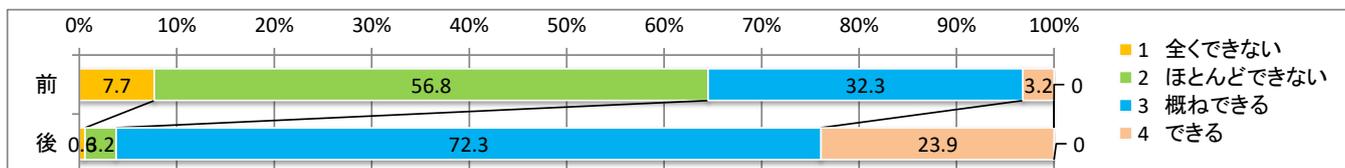
①人権と尊厳を支える専門職として求められる姿勢について説明できる。



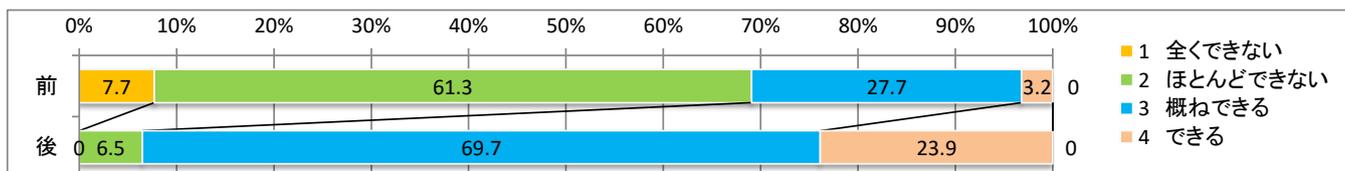
②守秘義務を順守したケアマネジメントの意義・重要性について説明できる。



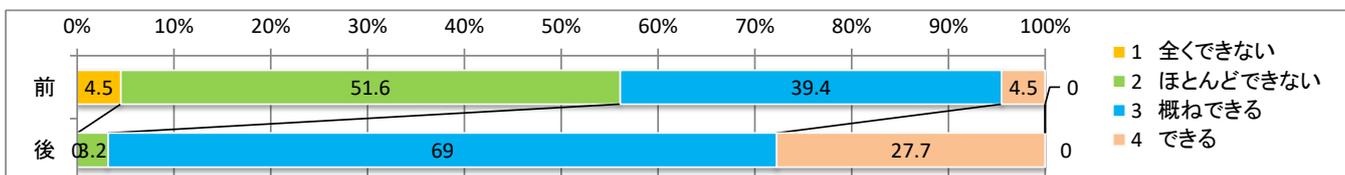
③日常業務において起こり得る倫理的課題に対し向き合うことの重要性について説明できる。



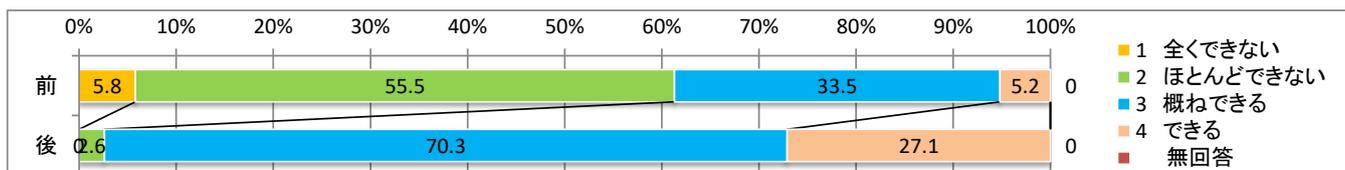
④利用者の生活を守るための制度の内容や利用方法について説明できる。



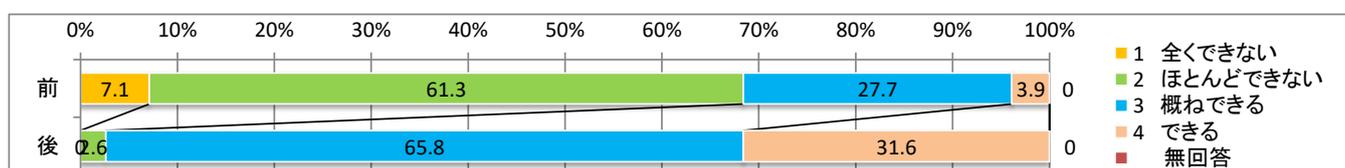
⑤人権等を踏まえ、利用者本位のケアマネジメントの重要性について説明できる。



⑥チームケアを行う際の倫理の必要性を判断できる。



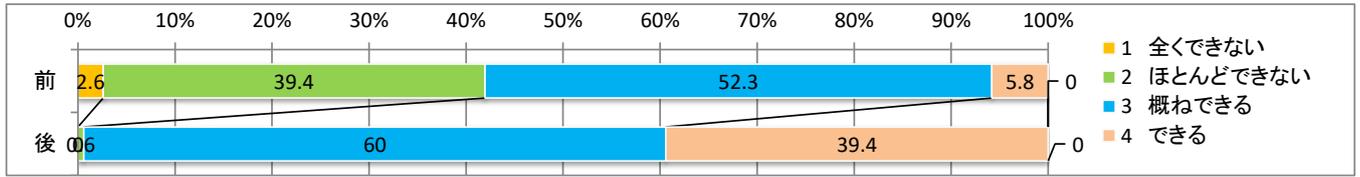
⑦介護保険制度で求められる利用者のニーズの代弁機能の意義について説明できる。



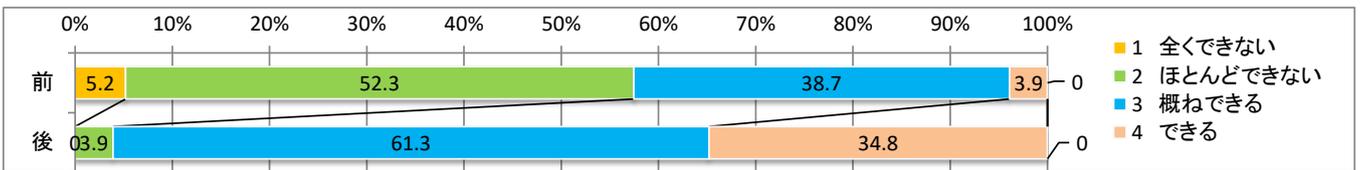
令和3年度介護支援専門員再研修・更新研修(実務未経験者)記録シート集計結果

科目名	⑭ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義		
実施日	令和4年1月27日	受講者数	155名

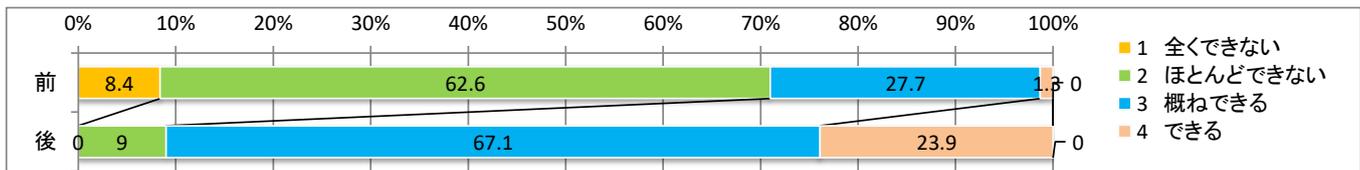
①医療との連携の意義と目的について説明できる。



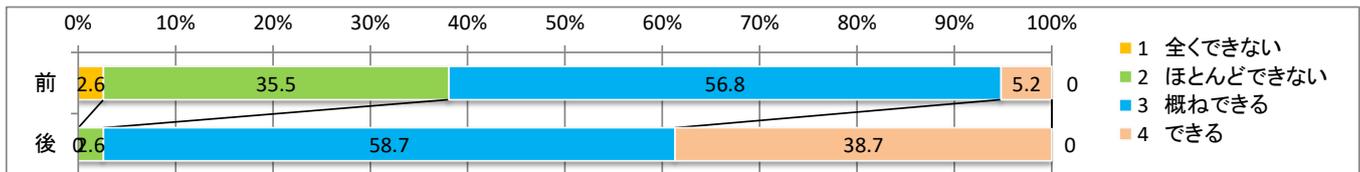
②医療機関や医療職からの情報収集及び提供の方法及び内容について説明できる。



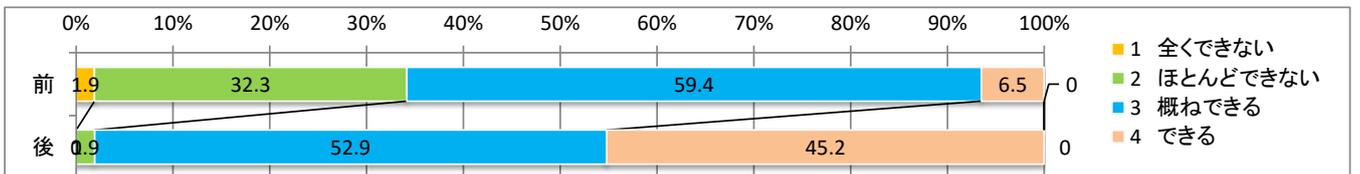
③地域の在宅医療・介護の連携を促進する仕組みについて説明できる。



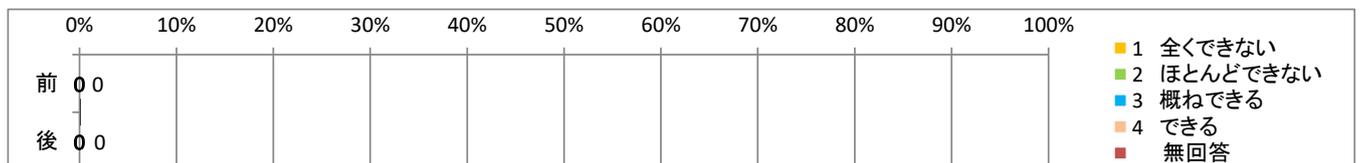
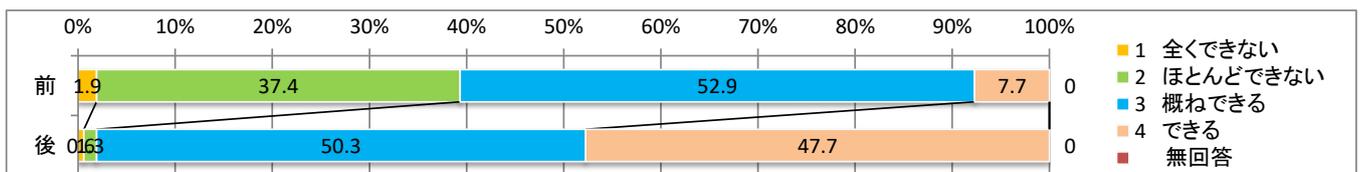
④多職種協働の意義と目的について説明できる。



⑤多職種間で情報を共有することの重要性について説明できる。



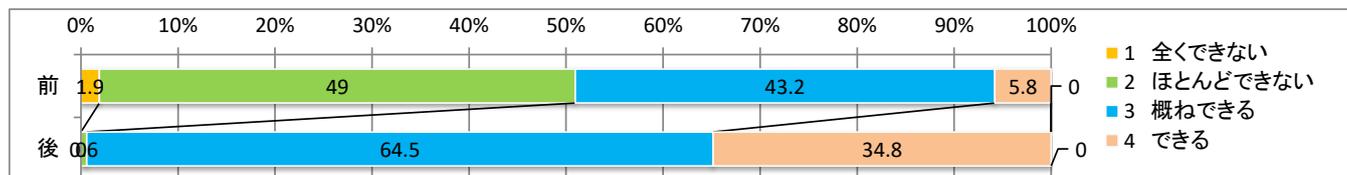
⑥多職種協働における個人情報を取り扱う上での利用者とその家族の同意の必要性について説明できる。



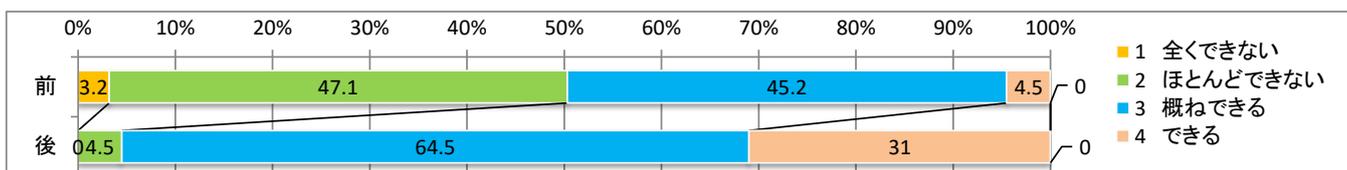
令和3年度介護支援専門員再研修・更新研修(実務未経験者)記録シート集計結果

科目名	⑮介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント)		
実施日	令和4年1月27日	受講者数	155名

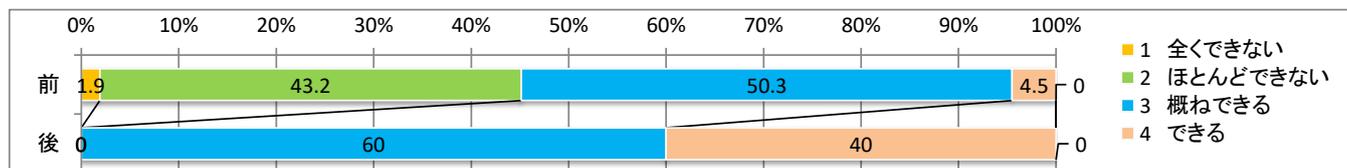
①利用者及び家族の支援に際し、チームアプローチの意義と目的について説明できる。



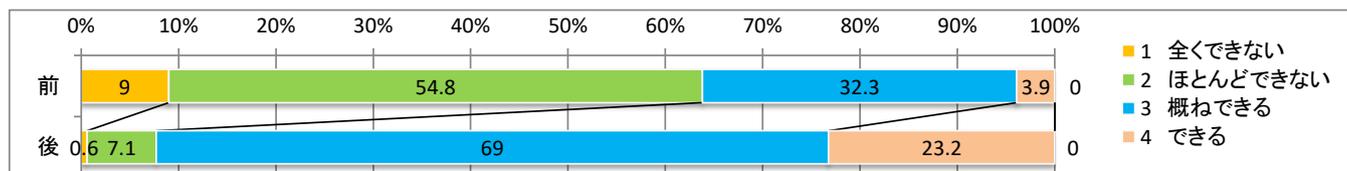
②チームを構成する各専門性についての役割について説明できる。



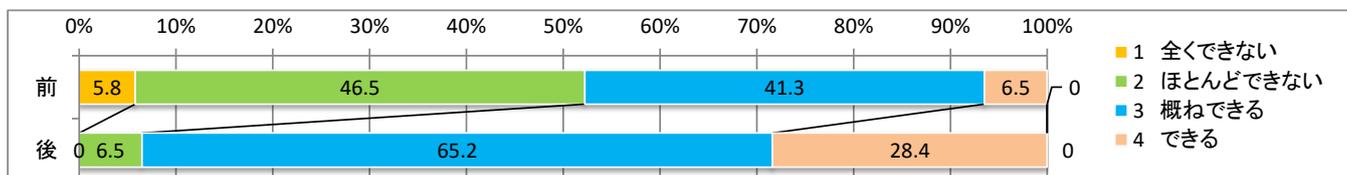
③チームにおける介護支援専門員の役割について説明できる。



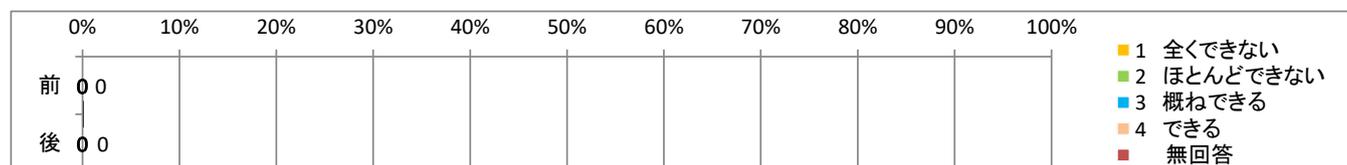
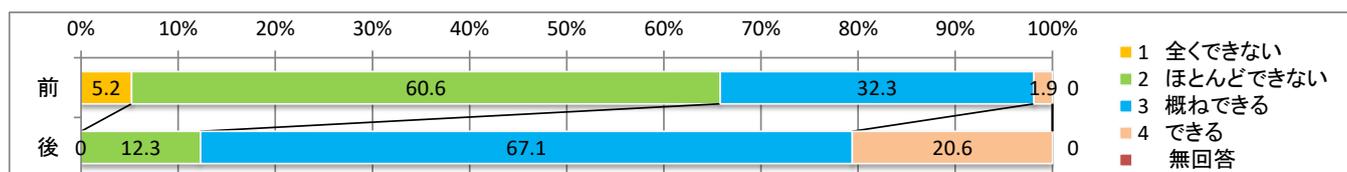
④アセスメントに基づく必要なチームの形成を実施できる。



⑤チームにおける情報共有を実施できる。



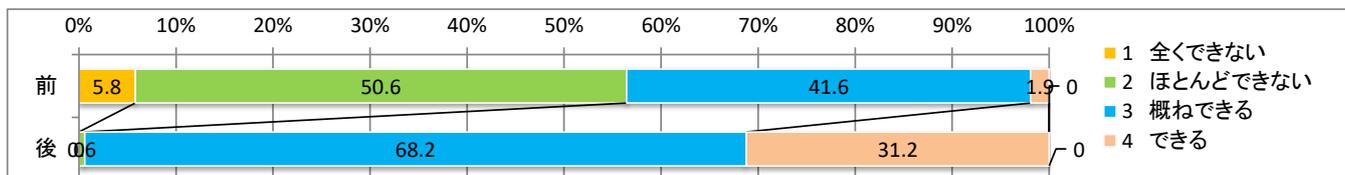
⑥円滑なチーム運営を実施できる。



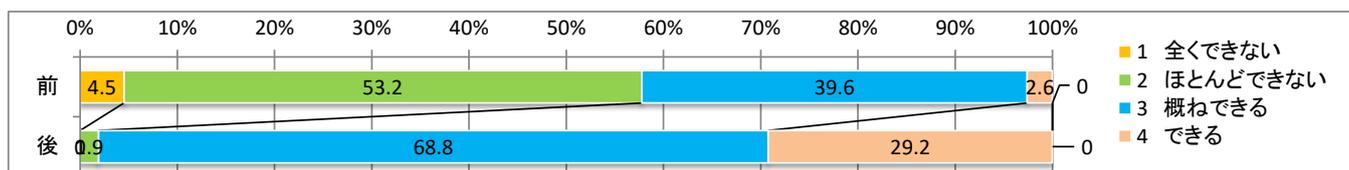
令和3年度介護支援専門員再研修・更新研修(実務未経験者)記録シート集計結果

科目名	①ケアマネジメントの展開・基礎理解		
実施日	令和4年3月1日	受講者数	154名

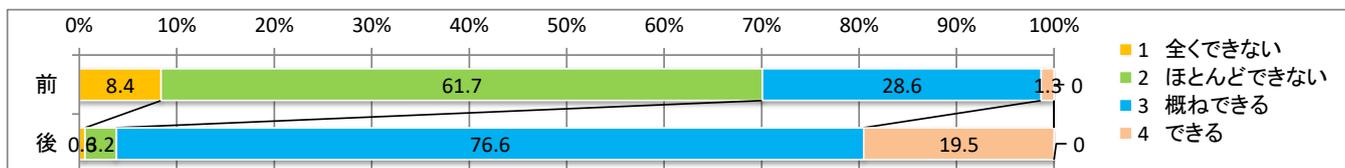
①ケアマネジメントを必要とする高齢者を取り巻く背景や特性について説明できる。



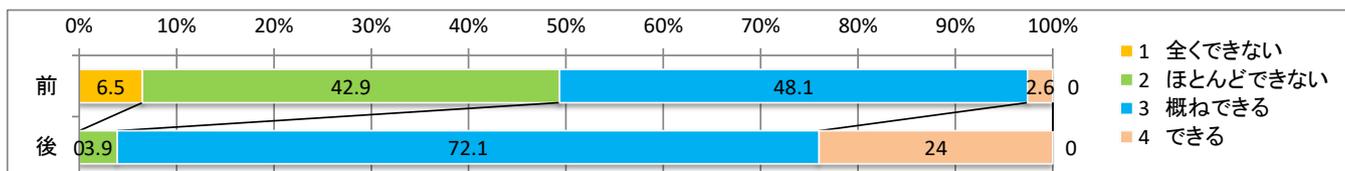
②高齢者に見られる生理、心理、生活環境等の関係性について説明できる。



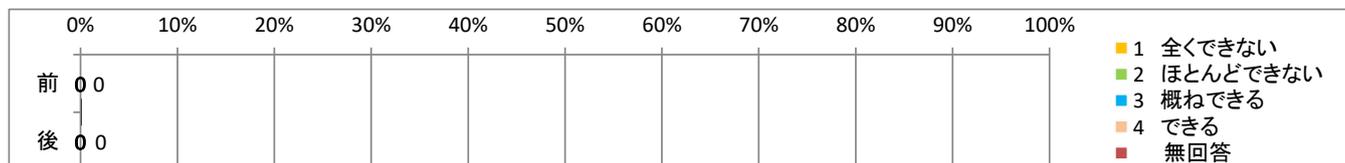
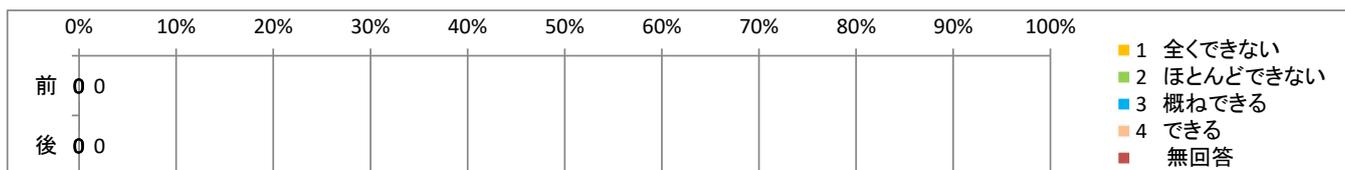
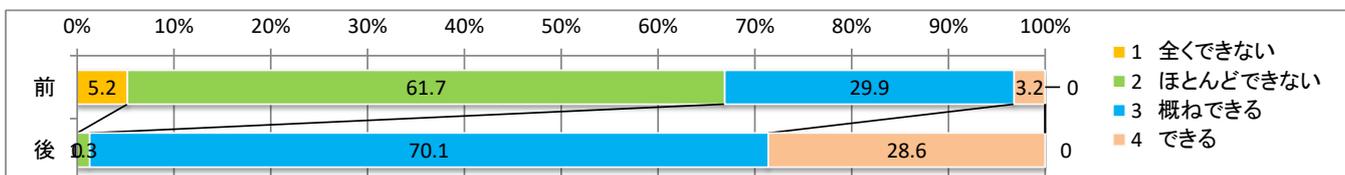
③居宅サービス計画作成のためのプロセスに沿って、支援にあたってのポイントについて説明できる。



④高齢者の自己決定を尊重したケアマネジメントを実施できる。



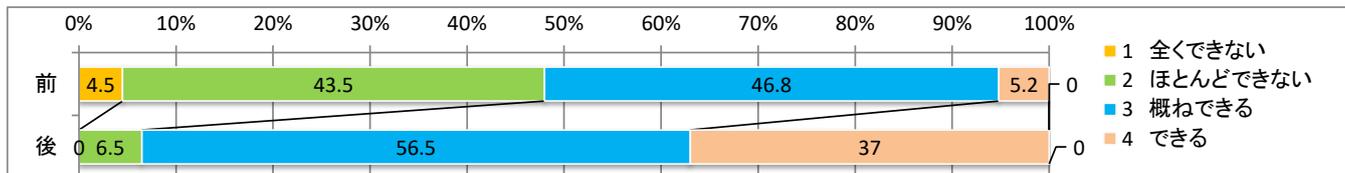
⑤高齢者に多い代表的な疾患や症候群別ケアマネジメントを学ぶことの有効性について説明できる。



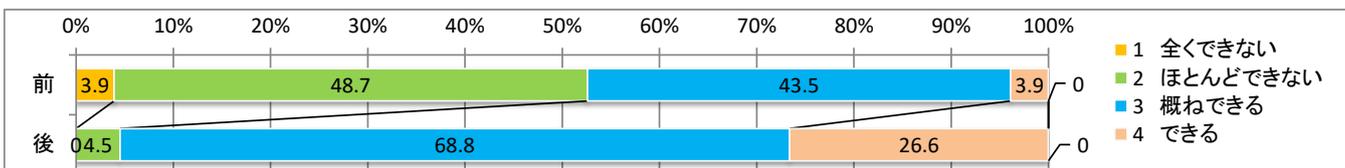
令和3年度介護支援専門員再研修・更新研修(実務未経験者)記録シート集計結果

科目名	⑩認知症に関する事例		
実施日	令和4年3月8日	受講者数	154名

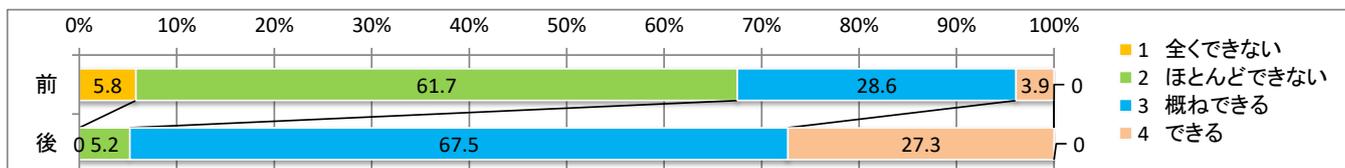
①4つの代表的な認知症について、その特徴とケアのポイントを述べることができる。



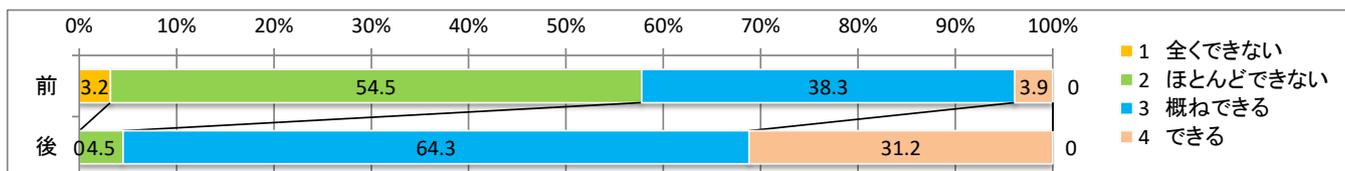
②認知症における療養上の留意点・倫理的な対応及び、起こりやすい課題について説明できる。



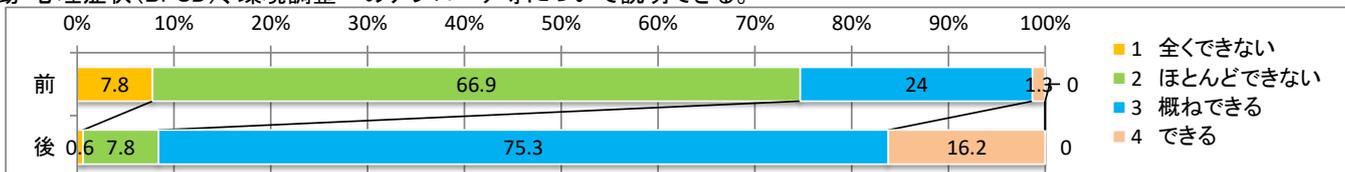
③独居で認知症の利用者等におけるアプローチの視点や方法について説明できる。



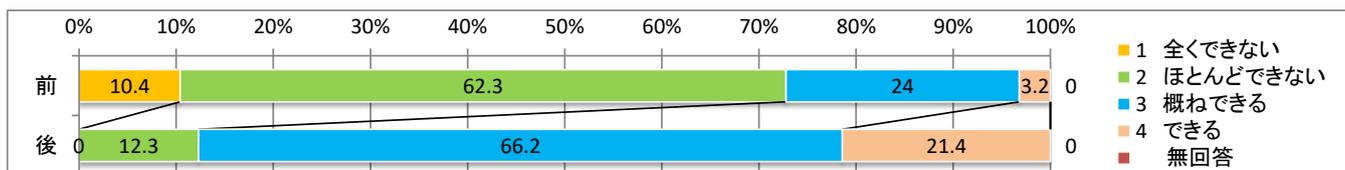
④認知症の利用者と同居している家族に対する支援や地域への配慮と協働の必要性について説明できる。



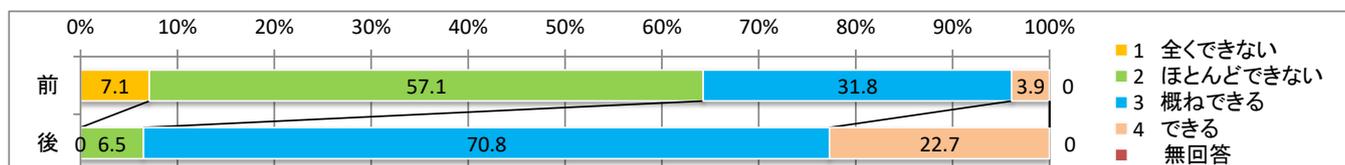
⑤認知症ケアの考え方に基づき、ケアマネジメントへの展開方法のポイント(倫理的な対応、医療職をはじめとする多職種連携、行動・心理症状(BPSD)、環境調整へのアプローチ等)について説明できる。



⑥認知症の特性に応じたポイントを踏まえてケアマネジメントプロセスを実施できる。



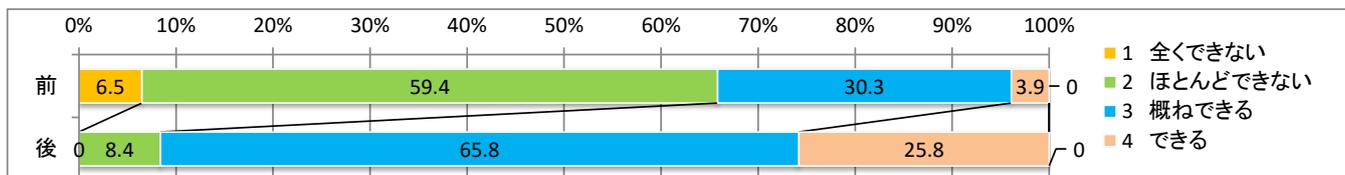
⑦継続学習の必要性と、具体的な学習方法を述べることができる。



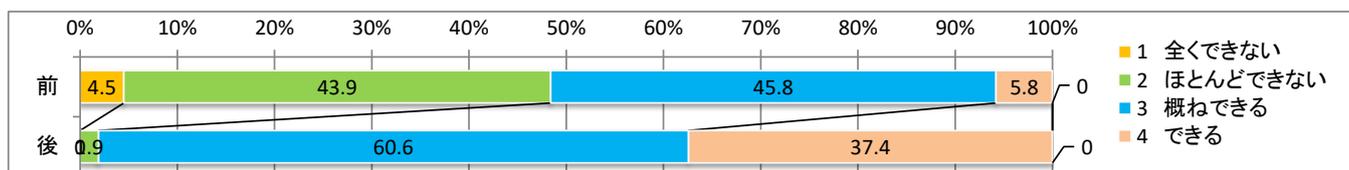
令和3年度介護支援専門員再研修・更新研修(実務未経験者)記録シート集計結果

科目名	⑬筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例		
実施日	令和4年3月2日	受講者数	155名

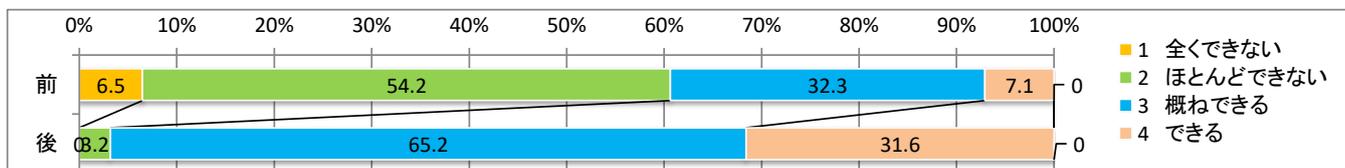
①筋骨格系の疾患の種類、原因、症状、生活をする上での障害及び予防・改善方法や特徴について説明できる。



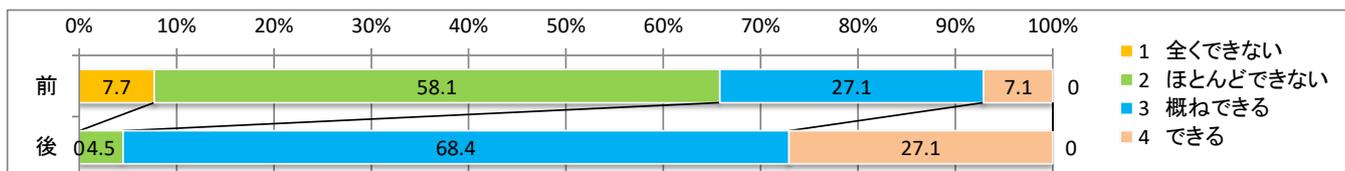
②廃用症候群の原因、生活をする上での障害及び予防・改善方法について説明できる。



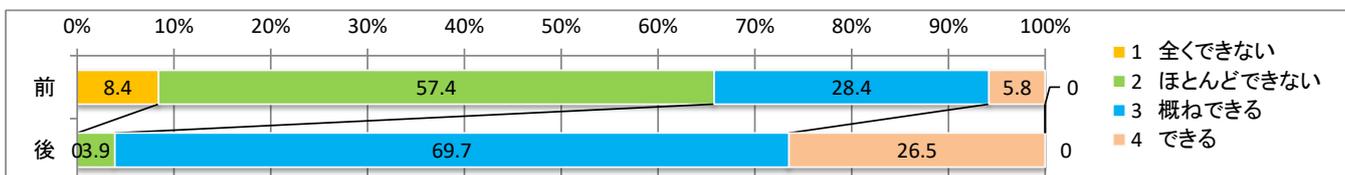
③筋骨格系疾患や廃用症候群の予防や改善方法について説明できる。



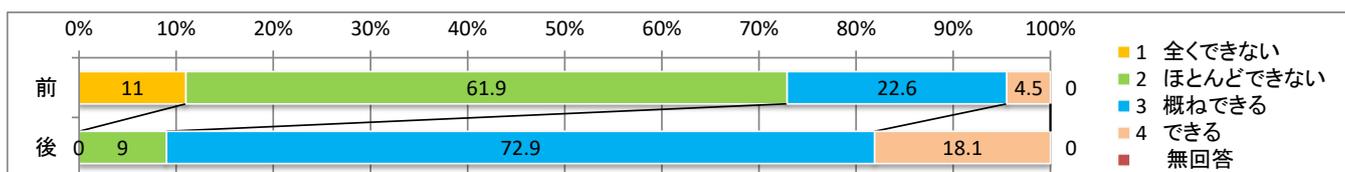
④筋骨格系疾患や廃用症候群における療養上の留意点について説明できる。



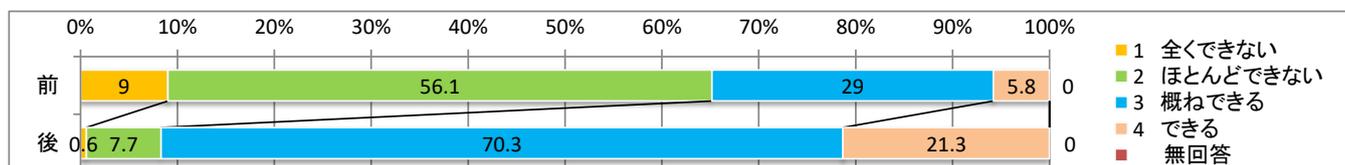
⑤筋骨格系疾患や廃用症候群におけるリハビリテーションや福祉用具、住宅改修の効果的な活用方法について説明できる。



⑥筋骨格系疾患や廃用症候群の特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法を実施できる。



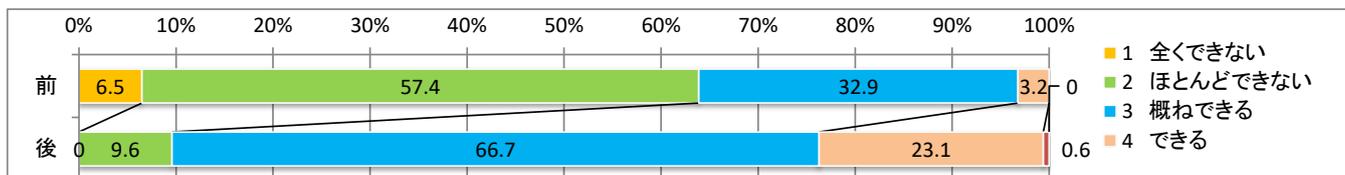
⑦継続学習の必要性と、具体的な学習方法を述べることができる。



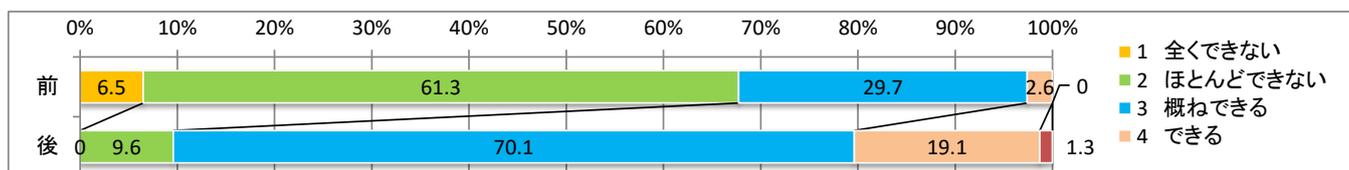
令和3年度介護支援専門員再研修・更新研修(実務未経験者)記録シート集計結果

科目名	㊸内臓の機能不全に関する事例		
実施日	令和4年3月14日	受講者数	155名

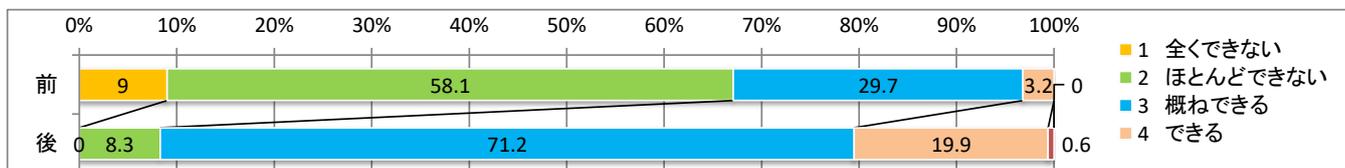
①内臓の機能不全に係る各疾患・症候群の種類、原因、症状について説明できる。



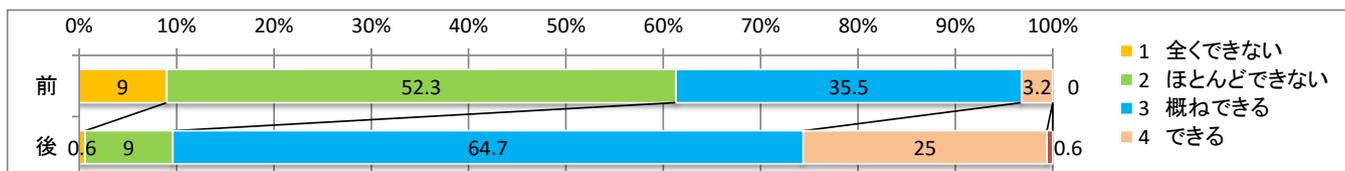
②内臓の機能不全等の生活をする上での障害及び予防・改善方法について説明できる。



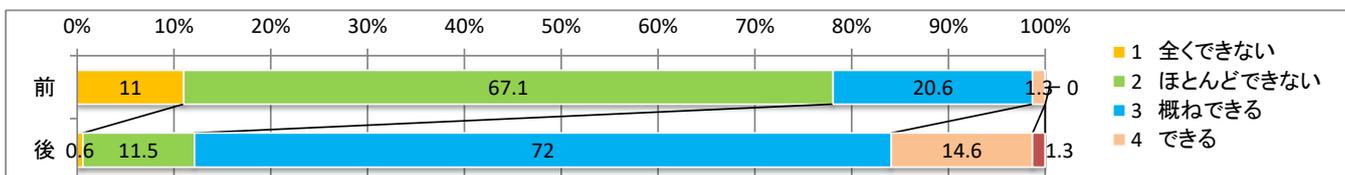
③内臓の機能不全等における療養上の留意点について説明できる。



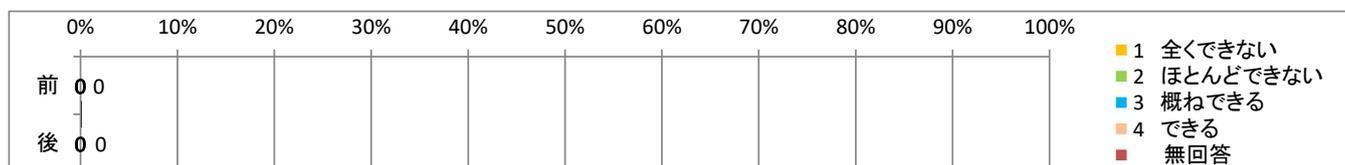
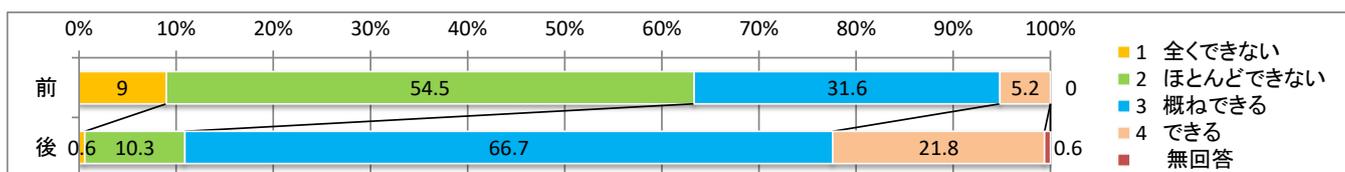
④内臓の機能不全等における生活習慣を改善するための方法について説明できる。



⑤内臓の機能不全等の特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法を実施できる。



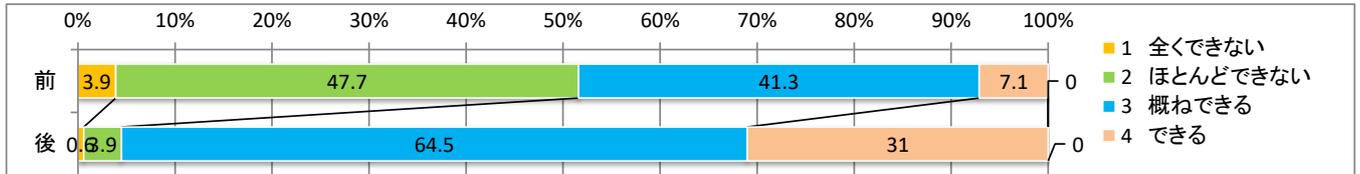
⑥継続学習の必要性と、具体的な学習方法を述べる事ができる。



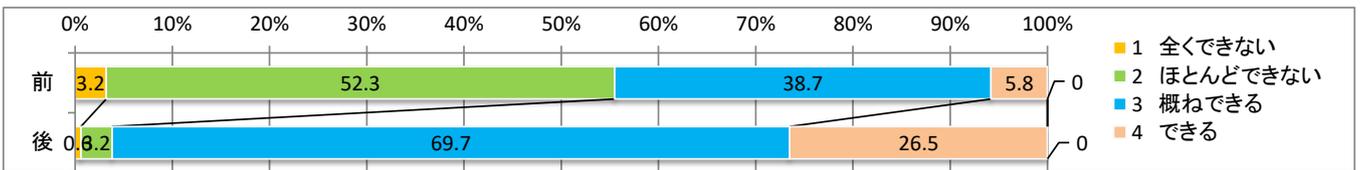
令和3年度介護支援専門員再研修・更新研修(実務未経験者)記録シート集計結果

科目名	②脳血管疾患に関する事例		
実施日	令和4年3月18日	受講者数	155名

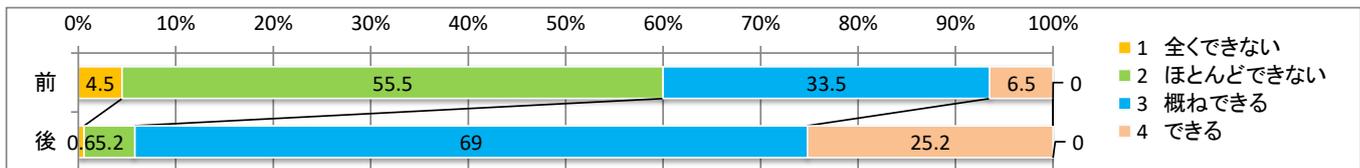
①脳血管障害の特徴について説明できる。



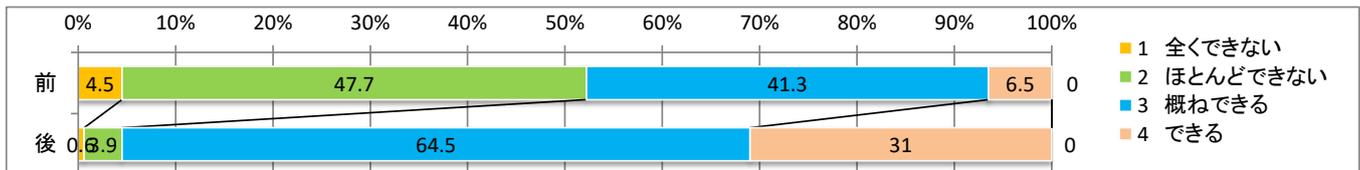
②脳血管障害における生活障害の特徴について説明できる。



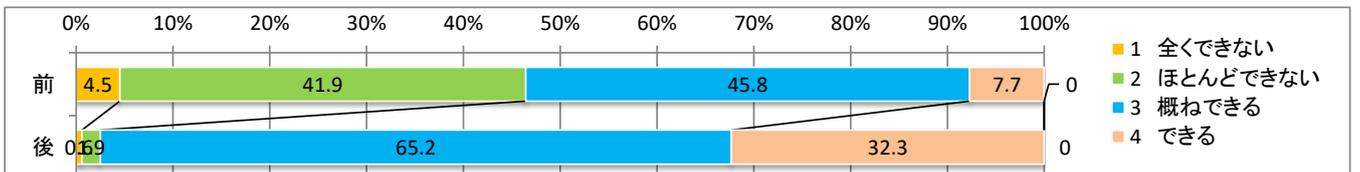
③脳血管障害における療養上の留意点や起こりやすい課題について説明できる。



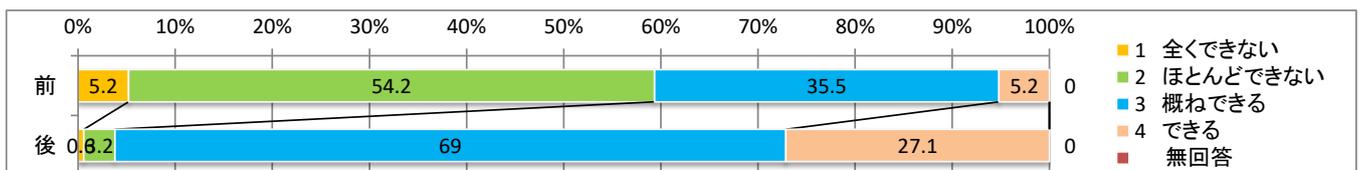
④脳血管障害における環境の調整(福祉用具・住宅改修を含む)の必要性について説明できる。



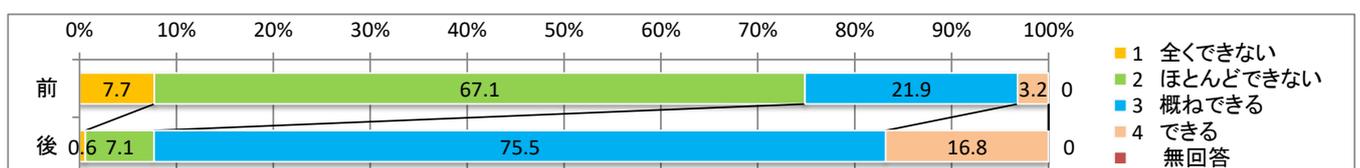
⑤脳血管障害におけるリハビリテーションの必要性について説明できる。



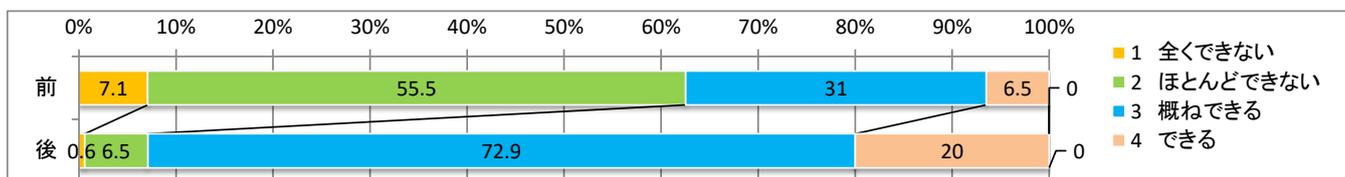
⑥医療職をはじめとする多職種との連携・協働のポイントについて説明できる。



⑦脳血管障害の特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法を実施できる。



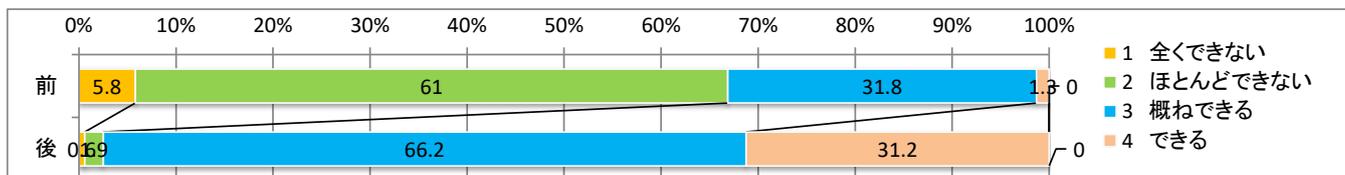
⑧ 継続学習の必要性と、具体的な学習方法を述べることができる。



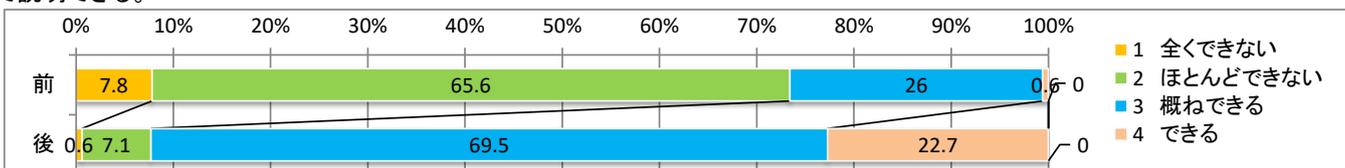
令和3年度介護支援専門員再研修・更新研修(実務未経験者)記録シート集計結果

科目名	㊸看取りに関する事例		
実施日	令和4年3月9日	受講者数	154名

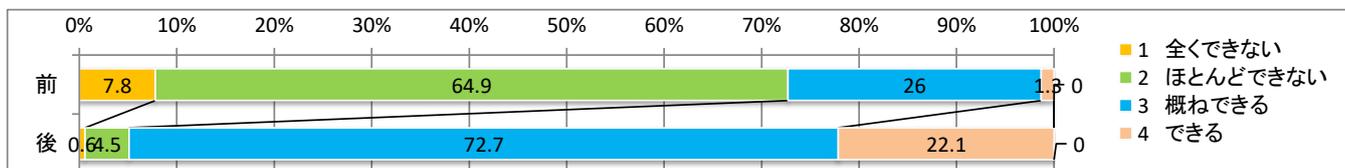
①看取りにおける介護支援専門員の役割や適切な姿勢について説明できる。



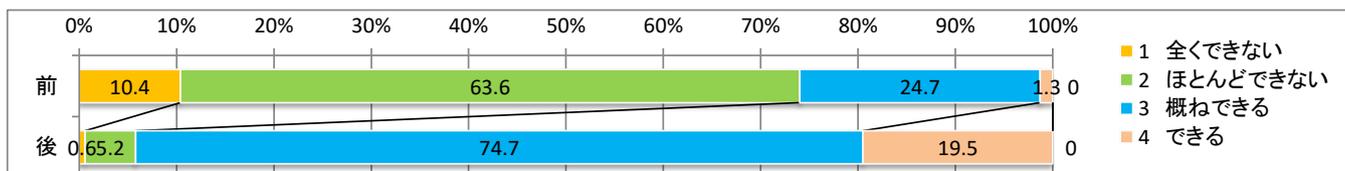
②看取りに関する各種サービス等の活用方法や、医療職をはじめとする多職種との連携・協働を効果的に行うためのポイントについて説明できる。



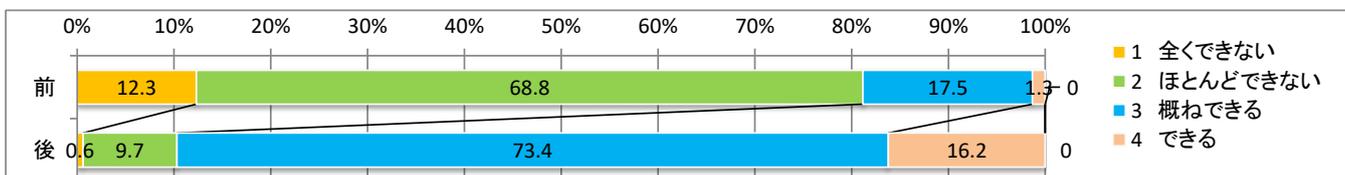
③看取りに向けた利用者及び家族との段階的な関わりの変化について説明できる。



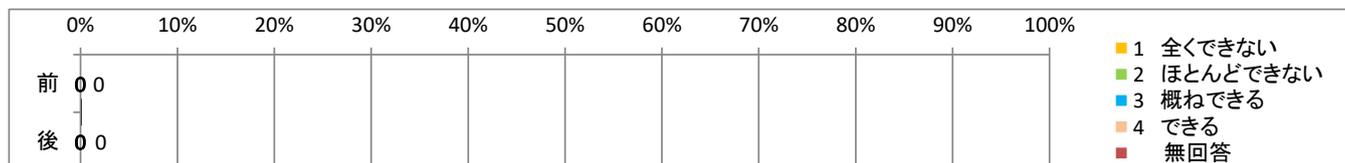
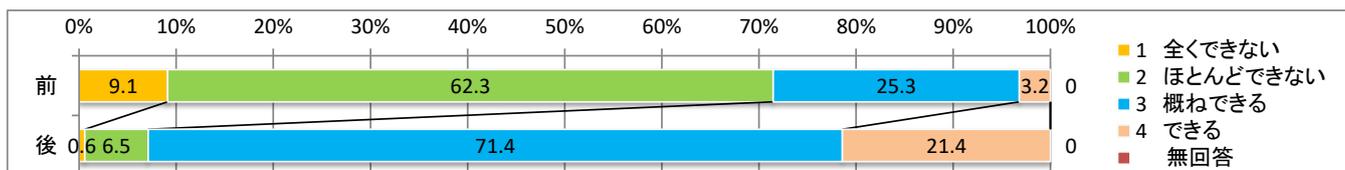
④看取りのケースにおいて、在宅生活の支援において起こりやすい課題について説明できる。



⑤看取りの特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法を実施できる。



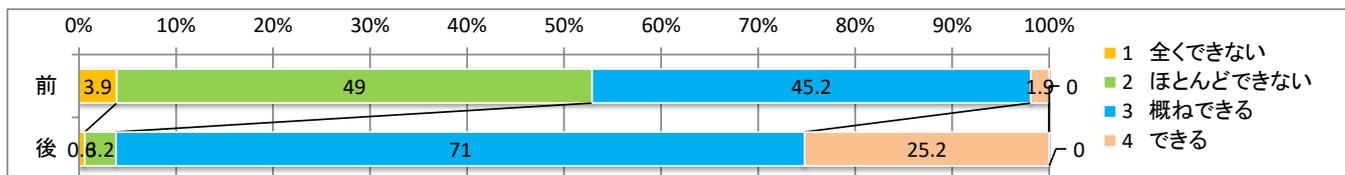
⑥継続学習の必要性と、具体的な学習方法を述べることができる。



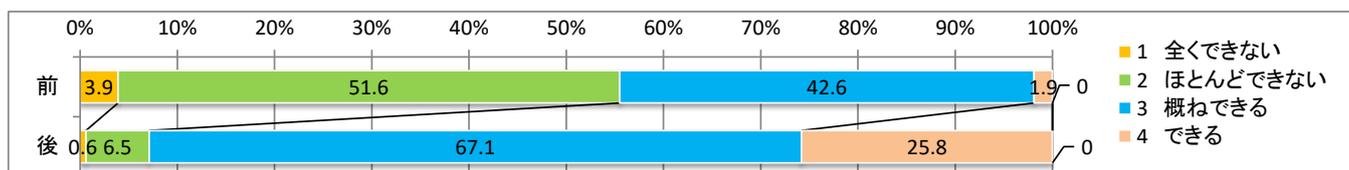
令和3年度介護支援専門員再研修・更新研修(実務未経験者)記録シート集計結果

科目名	③アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習		
実施日	令和4年3月19日	受講者数	155名

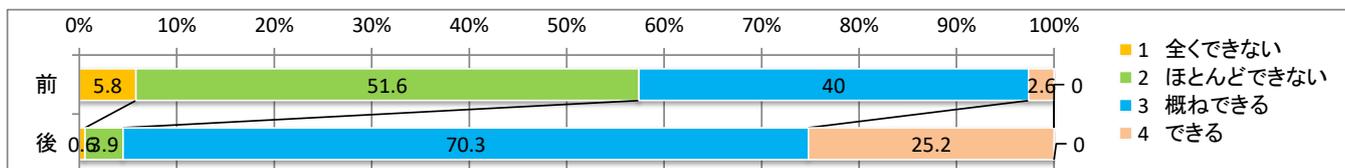
①事例に応じたケアマネジメントについて説明できる。



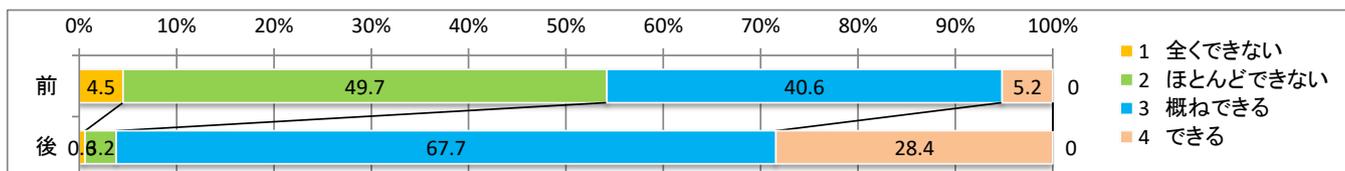
②ケアマネジメントプロセスごとの課題について説明できる。



③講評を受け、今後の自己課題の設定を実施できる。



④自己の課題に応じた解決策について説明できる。



⑤事例を基にサービス担当者会議、モニタリング場面等を模擬的に実施できる。

